

根室ジーンプロジェクト みんなの生き方ラボ

キックオフ講演会「寺からまちへ！」

5月27日に活動現場の中心となる根室別院に於いてキックオフ講演会「寺からまちへ！」が開催されました。



会場となった根室別院

講師として、このプロジェクトの中心となる studio-L <http://www.studio-l.org/> 代表の山崎 亮 氏 (<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B1%B1%E5%B4%8E%E4%BA%AE>) にお話いただきました。山崎氏は全国各地で、その地域と住んでいる人々の特性を活かしたコミュニティによる活性化を手がけています。デザイナーでありながら建物を作るわけではないことから「デザインをしないデザイナー」とも呼ばれているそうです。そのため講演会には寺院関係者や根室別院御門徒だけでなく、根室市役所関係者など 120 名を超える方々が参加されました。



講演を聞かれる参加者の方々

開式にあたり根室別院の小町輪番より「お寺は地域のコミュニティであったがその関係がいま崩れて来ており、いま一度その関係性を取り戻すためにこのプロジェクトを立ち上げたこと、また私達一人ひとりどのように生きていくかを考えていくきっかけとなつてほしい」という挨拶から始まりました。



挨拶をする小町輪番

続いて山崎氏の講演会では、これまで Studio-L が携わったプロジェクトの中から、兵庫県三田市の『有馬富士公園 <http://www.hyogo-park.or.jp/arimafuji/>（出会いのゾーンについてお話しされました）』、鹿児島県鹿児島市の『マルヤガーデンズ <http://www.maruya-gardens.com/>（ガーデンイベントについてお話しされました）』、東京都立川市の『立川子ども未来センター <http://t-mirai.com/>（イベント情報に載っていることをお話しされました）』、隠岐郡海士町『海士町プロジェクト <http://www.town.ama.shimane.jp/gyosei/soshin/>（第四次総合振興計画についてお話しされました）』を紹介されました。

どのプロジェクトも、人が集まらない場所に人が集まるための環境づくりをすることが課題でした。しかし、人を集めるために新たに施設やお金をかけることはせず、人と人を繋げることによって地域に新しいアイデアと活力が生まれるコミュニティづくりを第一として活動をされています。



講演をされる山崎氏

『有馬富士公園』の場合はダンスや演奏会など地域で活動している市民団体に声をかけ、公園を発表の場としました。公園に遊びに来た人は公園で行われている様々な催しを見て「自分もやってみたい」という気持ちが起こることにより新たな趣味と出会いが生まれ、もしかしたら公園で発表する側になって、またそれを遊ぶに来た人が見るといったような、ゲスト（お客さん）がキャスト（迎える側）に変わるコミュニティを作ることで、現在では2倍の来場者が来るまでになったそうです。



講演をされる山崎氏

山崎氏は、今後のお寺のあり方として「宗教・宗派の興味がある人だけに教えを伝えていくことも大切であるが、関心のない人にどのように教えを伝えていくか。それには宗教が自分の支えとした時代から価値観は変わり、その時代によって伝える手法を変えていく必要がある。そして、私達がどのように生きていったらいいのかということ、教えが自分にどのようなものであるのかということ伝えていくことが大切です。門徒さんだけでなく地域の人とのつながりを広げ、そこから何ができるのかを考えていくことが必要だと思います」とお話しいただきました。